

みかりば

学校教育目標「かしこく なかよく たくましく」

令和8年 4月 8日

令和8年度スタート! 入学・進級 おめでとうございます

校長 三上 陽照

校庭の花壇には様々な草花が生き生きと春を彩り、風の香りを楽しむかのように青空を舞いさえずる小鳥たち。希望に満ちあふれた新年度の春の訪れ。きっと本校の子供たちも、期待に胸を弾ませ、新たな1年のスタートを迎えたことと思います。

本日、4月8日(水)、**24名の新1年生**を迎え、**全校児童193名**で、令和8年度の御狩場小学校がスタート

しました。保護者の皆様におかれましては、お子様の入学、進級を心からお祝い申し上げます。



学校教育目標(目指す児童像)

かしこく・・・進んで学ぼうとする児童 学んだことを生かそう・使おうとする児童

なかよく・・・友達を思いやり「やさしい言葉」で接することができる児童

集団での学びや友達との学び・感情を考えて行動することができる児童

様々な場面で、自ら考えて行動し、感動・感激することができる児童

たくましく・・・元気に前向きに過ごすことができる児童

困難な場面でも、粘り強く最後まで努力し続ける児童

目指す学校像

【 やさしい言葉と前向きな気持ちがあふれ、互いに成長し続ける御狩場小! 】

～ 自己肯定感を高め合える学校 ～

今年度は、「目指す学校像」を一部変え、『やさしい言葉と前向きな気持ちがあふれ、互いに成長し続ける御狩場小!』として本校教育活動を推進していきます。これは、「できる」ことよりも、目標に向かって試行錯誤をくり返ししながら努力を重ねる過程を大事にしたいからです。

また、困難や不安に対したとき、誰かの思いやりあるやさしい言葉が、何よりも救いになることがあります。そんな温かな人間関係の中でこそ、自分自身のよさに気付かされ自己肯定感や自己有用感が育まれていきます。そして、心の安定は、前向きに取り組む意欲や失敗にもめげずにねばり強くやり抜く力を生み出します。つまりは、成長し続けていく原動力となるのです。

しかしながら、成長していく過程で、その頑張りやつまづきに誰も気付いてくれないとしたら・・・想像するまでもありません。だからこそ、できてからほめるのではなく、試行錯誤をくり返ししながら努力を重ねる姿そのものの美しさを認めていく「美(ほ)める」ことが大切なのです。子供同士、親子間、子供と教師・・・様々な関係での認め合いが、子供たちの日々の成長を支えています。そこで培われた小さな自信の連続が、いつか未来を切り開いていく生きる力となります。

学校では、教職員一同、かけがえのない宝物であるお子様をお預かりする責任を自覚し、子供たち一人一人の成長過程を大切に、温かく・粘り強くかわり(認め・励まし・美める・見届ける)、明るく元気に学校生活を送れるよう支えていきます。保護者、地域の皆様におかれましては、子供たちの健やかな成長のために、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

最後に、本年度も、保護者の皆様・地域の皆様のご理解ご協力の下、教職員一丸となり、誠心誠意努めて参りますので、どうぞよろしくお祝い申し上げます。